

## 産総研の第 6 期中長期目標について

## 目 次

## I. 基本的な考え方

## II. 次期目標における主な要素

## 1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装

- (1) 産総研の総合力を活かした融合研究の強化（による研究成果の創出と社会実装の加速）
- (2) 政府の重点政策に対応した戦略的研究開発と世界的な拠点の強化（による研究成果の創出と社会実装の加速）
- (3) 将来の社会実装につながる先端的技術シーズの創出
- (4) 共同研究強化とスタートアップ創出を通じた社会実装の加速
- (5) 産総研が巻き起こす地域イノベーションの推進

## 2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献

- (1) オープンイノベーションの活性化と地域企業の技術力向上への貢献
- (2) 知的基盤等の維持・整備・拡充の継続
- (3) ものづくり基盤加工技術の継承・強化
- (4) 研究設備の整備・提供による企業の研究開発活動の支援
- (5) 標準化活動の一層の強化
- (6) 国内外の技術インテリジェンス機能の強化による社会課題解決や競争力強化に向けた政府の政策立案への協力

## 3. 我が国のイノベーション・エコシステムの中核となる競争力のある研究所の運営

- (1) 産総研の研究開発力をより一層向上させる運営体制の構築
- (2) 有為な専門人材の確保
- (3) ブランディングによる研究開発成果の的確な対外発信
- (4) 研究DXの推進

## 4. 業務運営の改善及び効率化

- (1) 柔軟で効率的な業務推進体制
- (2) 研究施設の効果的な整備と効率的な運営
- (3) 業務の電子化

(4) 業務の効率化、合理的な調達の実施

5. 財務内容の改善に関する事項

6. その他業務運営に関する重要事項

(1) 人事に関する事項

(2) 研究セキュリティ・インテグリティの確保

(3) 業務運営全般の適正性確保及びコンプライアンスの推進、情報公開の推進等

III. 評価軸、評価指標、モニタリング指標 (別紙)

## I. 基本的な考え方

- ・産総研の次期（第6期）中長期目標期間が令和7年4月から開始。
- ・次期目標について、国立研究開発法人として「国としての社会課題の解決」と「我が国の経済成長・産業競争力強化」への貢献が大目的であることは、第5期と同様。その上で、国や企業が直面している社会課題を意識して世界最高水準の研究開発成果を生み出すという道半ばの目標に対し、マーケットインの発想を持って融合研究や出口を見据えた研究開発を強化するという第6期の活動を明確に示す。
- ・次期目標期間については、国内外の技術競争がさらに激化する中、特定国研としてより中長期を見据えた研究開発に集中するため、7年とすることを予定。目標にはその期間内に産総研として達成することが期待される成果を示す一方、当該期間を超えた中長期的に目指すべき姿を見据え、また、社会や情勢の変化に対応し、産総研の大目的を達成するためにより適切な対応を機動的に行うことも重要。なお、経済産業省と産総研が共通認識を持ち、さまざまな点で一層連携を強化することで、国の政策ニーズに応じていくことも期待される。

## II. 次期目標における主な要素

### 1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装

#### (1) 産総研の総合力を活かした融合研究の強化（による研究成果の創出と社会実装の加速）

- ・エネルギー・環境・資源制約への対応、人口減少・高齢化社会への対応、レジリエントな社会の実現を始めとした、次期目標期間内に重要となる社会課題の解決に**大きく貢献**する研究テーマを特定し、個別分野・領域に縛られない融合研究を強化することにより、**世界最高水準の研究開発成果を多数創出**する。
- ・更に、第5期に設立した成果活用等支援法人（株式会社 AIST Solutions。以下「AISol」という。）と産総研が一体となり、産総研が取り組むべき社会実装のあり方を明確化することにより、その成果のこれまで以上に**速やか**、かつ**インパクトの大きい社会実装を実現**する。インパクトの大きい社会実装に着実につなげるため、冠ラボを始めとする産総研の研究成果の社会実装に向けた企業との共同研究等を拡充するとともに、産総研の知的財産の企業等による活用を促進する。
- ・これらを実現するため、各領域から独立して融合研究を行うセンターを設置する等、産総研の幅広い研究分野の融合機能を強化する改革を行う。
- ・これまで以上に、国プロへの参画や企業との共同研究の質と量を高めることで、研究成果の質を高め、これまで以上に産総研の研究成果の社会実装をより速くインパクトあるものとする。

#### (2) 政府の重点政策に対応した戦略的研究開発と世界的な拠点の強化（による研究成果の創出と社会実装の加速）

- ・政府の重点分野における**政策目標を達成**するため、政府の中長期戦略等に即して、政府のコミットメントも得つつ、**AI、量子、半導体、GX、マテリアル DX、バイオものづくり等の先端基盤技術**について、戦略的・集中的な研究開発を行い、**世界最高水準の研究成果を創出**する。
- ・その観点から、グローバル拠点を整備・強化し、競争領域、協調領域を整理しつつ、グローバル競争力の向上を意識した**研究開発を強力に推進**するとともに、我が国企業の強みを活かすような**世界的なビジネスエコシステムの構築に貢献**し、研究成果をより速く、インパクトある**社会実装の実現**につなげる。
- ・現時点で政府方針として特定されていない分野についても、産総研の強みを踏まえつつ、政府の重点政策等の方向性に柔軟に対応して、我が国企業のグローバル競争力の強化に取り組む。

### (3) 将来の社会実装につながる先端的技術シーズの創出

- ・将来の社会実装につながる技術シーズを創出するため、今後顕在化しうる技術的課題を予測しつつ、先端的、高度な技術・ノウハウを必要とする研究開発を推進し、**世界最高水準の研究成果を創出**する。
- ・特に産総研が長年の取組を通じてイノベーションの核となり得る知見、知財、ノウハウ等を有する研究テーマについては、国内外の動向を注視して研究の方向性を検証しつつ、産総研の強みをさらに堅固にするような研究開発を行う。

### (4) 共同研究強化とスタートアップ創出を通じた社会実装の加速

- ・AISoI と一体となり、産総研の研究成果の社会実装に向けた**共同研究等を質量ともに拡充**し、産総研の**知財の活用促進**や、研究成果の**社会実装を加速・拡大**する。
- ・AISoI や他の公的機関等と共に、産総研の技術シーズを事業化する**スタートアップの創業や事業加速化に向けた支援を強化**し、大きな成長力が見込まれる**企業価値の高いスタートアップを社会に数多く創出**する。

### (5) 産総研が巻き起こす地域イノベーションの推進

- ・ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ (BIL) や地域企業・大学との共同研究等を**質量ともに拡充**し、国立研究開発法人として、地域拠点を動力源として地域に偏在する**社会課題解決に貢献**するとともに、他地域への展開を通じた**日本全体としての課題解決**につなげる。
  - ・上記の取組により、地域の**中核的な産業・企業との連携を強化**し、地域産業の創出・活性化を通じた日本経済の成長・産業競争力強化に貢献する。

## 2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献

### (1) オープンイノベーションの活性化と地域企業の技術力向上への貢献

- ・コンソーシアム等の企業や大学等研究機関が集うプラットフォームの形成・維持を推進する取組を**質量ともに拡充**する。これを通じて地域企業、大学、公的機関等の**連携とそこからの成果**

創出を促進し、我が国のイノベーション基盤の強化に貢献する。

- ・オープンイノベーション活性化に取り組む外部人材の育成や、地域における公設試等との技術連携を通じて、**企業の技術力維持・強化を下支えする基盤整備**を行うとともに、日本の産業を担う**サプライチェーンの維持・強化**に貢献する。
- ・海外有力機関との連携を**質量ともに拡充**し、連携による**成果創出を強化**、我が国の**国際的なイノベーション・ネットワークを構築・強化**することで、産業競争力の基盤強化に貢献する。

## (2) 知的基盤等の維持・整備・拡充の継続

- ・日本の産業競争力強化にとって**必要不可欠な地質情報、計量標準・計測技術等の世界的水準の知的基盤の維持・整備、拡充、情報提供**を着実に進め、政府、大学等研究機関、企業等の活動に貢献することで、防災を始めとする日本全体の社会課題解決や産業競争力強化に貢献する。
- ・AIST-IDEA やリサイクル材料特性等、国際的なデータ基盤等を**高い水準で更新し続け、機能強化や提供する情報の水準向上**を行う。

## (3) ものづくり基盤加工技術の継承・強化

- ・企業のものづくり基盤加工技術の知見の、AI等の情報技術も活用した体系化や共有による知識基盤整備を行い、我が国**企業の加工技術の継承・強化**に貢献する。

## (4) 研究設備の整備・提供による企業の研究開発活動の支援

- ・産総研の**世界トップクラスの研究設備の整備**や、GOCO (Government-Owned, Contractor-Operated) の運用方法等に倣った企業等が**利用しやすい仕組みの提供**により、企業の研究開発活動を支援し、我が国企業の**研究開発・社会実装の高度化・効率化**に貢献する。

## (5) 標準化活動の一層の強化

- ・産総研の研究成果等の効率的・効果的な社会実装に向け、特に国際競争が激化しているフロンティア領域や、標準化で我が国企業の技術優位性等を明確化できる分野等を中心に国内外の標準の審議・検討に積極的に参画し、**標準化活動の水準やプレゼンスの向上**に貢献する。

## (6) 国内外の技術インテリジェンス機能の強化による社会課題解決や競争力強化に向けた政府の政策立案への協力

- ・産総研の**技術インテリジェンス機能を強化**して、国内外の技術動向をタイムリーに把握する。また、技術動向のみならず国際情勢・地政学的変化を踏まえ、我が国の社会課題解決や競争力強化に向け強化すべき研究開発のポイントを明確化する。
- ・さらに、政府との連携体制を強化し、政府の政策立案・実施検討への**中核的な情報提供**、政府戦略への積極的提言や意思決定プロセスへの参画等を通じて、**政府の政策形成過程に具体的な貢献**を行う。

### 3. 我が国のイノベーション・エコシステムの中核となる競争力のある研究所の運営

#### (1) 産総研の研究開発力をより一層向上させる運営体制の構築

- ・研究開発の長期性、不確実性等を踏まえた研究戦略を策定し、最適な組織設計、リソース配分の最適化及び柔軟な見直しにより、**研究開発成果を最大化**する。
- ・併せて、研究と実装の間にある実証・スケールアップ研究をサポートするエンジニアリング機能の抜本的強化、研究開発成果の社会実装のための AISoI と産総研とのナレッジシェア・情報共有の迅速化等を実現する運営体を構築することで、**研究所としての研究開発活動の水準を高める**。

#### (2) 有為な専門人材の確保

- ・産総研の研究開発活動の水準向上により**国際競争力を強化**するため、優秀な研究人材、研究開発の実装を支援するエンジニアリング人材に加えて、産総研グループ一体となって、高度な専門的知識と経験を生かし研究を支える専門人材の戦略的獲得を図る。

#### (3) ブランディングによる研究開発成果の的確な対外発信

- ・研究開発成果の的確な広報・情報発信による産総研ブランドの浸透を通じて、研究所運営の質を高め、**国際的な研究競争力強化を実現**する。

#### (4) 研究DXの推進

- ・研究開発に係る膨大なデータや作業等に対して、システム整備のみならず、システムを効率的に活用するスキル向上も含めたデジタルトランスフォーメーション (DX) を推進し、データ活用推進を通じた**研究開発活動の競争力強化を実現**する。

### 4. 業務運営の改善及び効率化

#### (1) 柔軟で効率的な業務推進体制

- ・特定国研として**世界最高水準の研究成果を創出**することが求められていることを踏まえ、産総研の総合力を推進する研究推進体制を構築。全所的研究戦略の立案・推進機能、技術インテリジェンス機能、エンジニアリング機能の強化や、コーポレート業務の合理化・効率化、研究支援等の集約化を行う。また、研究セキュリティ・インテグリティの確保に向けた最適な組織体制を構築する。

#### (2) 研究施設の効果的な整備と効率的な運営

- ・研究業務への影響が大きく、老朽化が進行している施設の改修を進め、効果的・効率的に施設を運用する。

### **(3) 業務の電子化**

- ・情報システムの充実と事務手続の簡素化・迅速化を図る。投資対効果を精査した上で業務の電子化を進め、利便性の向上、データ利活用・管理効率化を継続する。

### **(4) 業務の効率化、合理的な調達の実施**

- ・一般管理費・業務経費の効率化、合理的な調達の実施に努める。

## **5. 財務内容の改善に関する事項**

- ・財務内容の改善に引き続き努める。

## **6. その他業務運営に関する重要事項**

### **(1) 人事に関する事項**

- ・研究所の運営を担う多彩な人材の獲得を積極的に進める。また、職員に対する多様なキャリアパスの提示や様々な経験を通じた研究所に有為な人材の育成とともに、人事制度改革推進によるエンゲージメントの向上を図り、各職員の能力を最大限発揮できる研究所とする。

### **(2) 研究セキュリティ・インテグリティの確保**

- ・第5期中に判明した情報漏えい事案や国立研究開発法人の機能強化に向けた取組について（令和6年3月29日関係府省申合せ）や、その他の政策方針に則り、ゼロトラストセキュリティ等の研究セキュリティ・インテグリティの確保に必要な対策を講じる。また、研究不正事案を踏まえ、引き続き職員の研究倫理向上等の再発防止対策を強化する。

### **(3) 業務運営全般の適正性確保及びコンプライアンスの推進、情報公開の推進等**

- ・2024年4月に成立したセキュリティ・クリアランス制度等の関係法令を遵守し、厳正かつ着実なコンプライアンスの確保、情報公開の推進等に努める。

以上

## 国立研究開発法人産業技術総合研究所の評価に関する評価軸等

項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
<p>1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装</p>	<p>(1) 産総研の総合力を活かした融合研究の強化（による研究成果の創出と社会実装の加速）</p>	<p>○社会課題の解決や産業競争力の強化に向けて、戦略的に社会実装につながる研究開発を実施できているか</p> <p>○社会的インパクトの大きい研究成果を創出できているか</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題の解決や産業競争力の強化に資する研究開発成果（論文等の発表状況、製品化の状況等）</li> <li>・社会実装につながる研究開発の状況（民間企業との共同研究等、国の基準等への反映）</li> <li>・研究成果の社会的インパクトの状況（製品化及びその市場規模、受賞、主要メディア報道等）</li> <li>・政府の政策への貢献状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業との共同研究等の件数及び金額</li> <li>・国の研究開発プロジェクト等の件数及び金額</li> <li>・学術誌等への論文掲載数、論文の質に関する指標（Top10%論文数等）</li> <li>・知財等の創出数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
<p>1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装</p>	<p>(2) 政府の重点政策に対応した戦略的研究開発と世界的な拠点の強化（による研究成果の創出と社会実装の加速）</p>	<p>○国の政策方針に対応して、戦略的に社会実装につながる研究開発を実施できているか</p> <p>○産業ニーズに的確かつ高度に応えた産業競争力の強化に結びつく研究開発が実施できているか</p> <p>○社会的インパクトの大きい研究成果を創出できているか</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題の解決や産業競争力の強化に資する研究開発成果（論文等の発表状況、製品化の状況等）</li> <li>・政府の重点分野において掲げる政策目標の達成への貢献状況</li> <li>・戦略的な社会実装につながる研究開発の状況（民間企業との共同研究等、国の基準等への反映）</li> <li>・研究成果の社会的インパクトの状況（製品化及びその市場規模、受賞、主要メディア報道等）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の研究開発プロジェクト等の件数及び金額</li> <li>・民間企業との共同研究等の件数及び金額</li> <li>・学術誌等への論文掲載数、論文の質に関する指標（Top10%論文数等）</li> <li>・知財等の創出数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
<p>1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装</p>	<p>(3) 将来の社会実装につながる先端的技術シーズの創出</p> <p>○長期的な視点により、技術シーズの更なる創出につながる研究開発を実施できているか</p> <p>○世界最高水準、社会的インパクトの大きさ、新規性といった観点から、レベルの高い研究成果を創出できているか</p>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の社会実装につながる技術シーズの創出に資する研究開発成果（論文等の発表状況、製品化の状況等）</li> <li>・ 研究成果の社会的インパクトの状況（受賞、主要メディア報道、製品化及びその市場規模）</li> <li>・ 社会課題の解決や産業競争力の強化に資する研究開発成果</li> <li>・ 政府の政策への貢献状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学術誌等への論文掲載数、論文の質に関する指標（Top10%論文数等）</li> <li>・ 知財等の創出数</li> <li>・ 民間企業との共同研究等の金額及び件数</li> <li>・ 国の研究開発プロジェクト等の件数及び金額</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
<p>1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装</p>	<p>(4) 共同研究強化とスタートアップ創出を通じた社会実装の加速</p>	<p>○研究成果の社会実装を加速・拡大するため、共同研究等の外部連携を質量ともに拡充できているか</p> <p>○マーケティング力を強化できているか</p> <p>○企業価値の高いスタートアップの創出ができているか</p> <p>○戦略的に知財の活用が促進できているか</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部連携活動や冠ラボの構築の状況</li> <li>・ マーケティング力の強化に向けた取組状況</li> <li>・ 産総研の技術が活用されるスタートアップの創出状況及び活動状況（件数及び企業価値）</li> <li>・ 知財等の活用状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果活用等支援法人を含めた産総研全体の民間企業との共同研究の総額</li> <li>・ 冠ラボの構築件数</li> <li>・ セミナー等の実施件数</li> <li>・ マーケティング人材の採用数</li> <li>・ 成果活用等支援法人を含めた産総研が認定し支援したスタートアップの数</li> <li>・ 知財等のライセンスの件数と金額</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
<p>1. 「社会課題の解決」と「経済成長・産業競争力強化」に貢献する世界最高水準の研究成果の創出とその成果の着実な社会実装</p>	<p>(5) 産総研が巻き起こす地域イノベーションの推進</p>	<p>○地域産業の強みやニーズを的確に把握し、産業競争力の強化に結びつく研究開発への支援により、社会課題の解決や地域産業への貢献が強化できているか</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域産業の強みやニーズの把握・共有の状況</li> <li>・ 地域企業の事業化への研究開発を通じた社会課題の解決や地域産業への貢献</li> <li>・ 地域イノベーションの推進に向けた連携体制の構築状況</li> <li>・ 地域経済をけん引する企業との共同研究等の具体的な連携の状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域拠点長会議を始めとした地域情報共有会議の開催数</li> <li>・ BIL 等の共同研究推進拠点の整備及び運用の件数、参画研究者数</li> <li>・ 地域・中堅・中小企業との共同研究等の数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
<p>2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献</p>	<p>(1) オープンイノベーションの活性化と地域企業の技術力向上への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンソーシアム活動等を通じた産学官等との連携・交流の促進を通じて、イノベーション基盤が強化できているか</li> <li>○オープンイノベーションの活性化のための外部人材の育成が拡充できているか</li> <li>○公設試験研究機関等との連携により、企業の技術力維持・強化に貢献しているか</li> <li>○海外の有力機関との連携が構築・強化できているか</li> <li>○国際的なイノベーション・ネットワークを構築・強化できているか</li> </ul>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産総研が参画しているコンソーシアム等の活動状況と、この活動を通じた企業等の戦略的連携及び成果創出への貢献状況</li> <li>・オープンイノベーションの活性化に寄与する外部人材の育成状況</li> <li>・地域イノベーション推進に向けた公設試等との連携状況と、地域企業の技術力維持・強化の状況</li> <li>・海外の有力機関との連携状況と、これによる成果創出の状況</li> <li>・国際的な会議、ワークショップ等の開催、参加を通じたイノベーション・ネットワークの構築、強化の状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産総研が参画するコンソーシアム等が実施した講演会等の件数</li> <li>・産総研と内外の関係機関の連携状況（相談件数等）</li> <li>・外部人材の育成人数</li> <li>・海外の研究機関等との連携数、連携プロジェクト数</li> <li>・国際的な会議、ワークショップ等の開催・参加数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目		評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献	(2) 知的基盤等の維持・整備・拡充の継続	<p>○国の知的基盤整備計画に基づいて、計量標準・計測技術等の世界的水準の知的基盤の維持・整備・拡充、情報提供に着実に取り組んでいるか</p> <p>○社会課題解決に向けて必要な基盤的な情報を高い水準で更新し、機能強化や提供する情報の水準向上ができていますか</p>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的基盤の維持・整備、拡充、情報提供の状況</li> <li>・基盤的な情報の維持・整備、拡充、情報提供の状況</li> </ul> <p>等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持・整備、拡充、情報提供した知的基盤等の件数</li> <li>・政府、大学等研究機関、企業等による知的基盤等の利用の状況</li> </ul> <p>等</p>
	(3) ものづくり基盤加工技術の継承・強化	<p>○情報技術等を活用し、企業のものづくり基盤加工技術の効果的・効率的な継承・強化に取り組んでいるか</p>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり基盤加工技術の継承・強化に向けた知識基盤の整備状況</li> <li>・企業による知識基盤の活用を通じたものづくり基盤加工技術の継承・強化状況</li> </ul> <p>等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識基盤として整備されたものづくり基盤加工技術のプロジェクト数</li> <li>・企業によるものづくり基盤加工技術の活用件数</li> </ul> <p>等</p>

項目		評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献	(4) 研究設備の整備・提供による企業の研究開発活動の支援	<p>○世界トップクラスの研究設備を整備・提供することにより、企業の研究開発活動が高度化・効率化しているか。</p> <p>○整備・提供の仕組みや業務の改善を通じて、更なる効率的な運用を実施できているか</p>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界トップクラスの研究設備の整備状況</li> <li>・企業等による研究設備の利用状況と、研究設備の提供等を通じた企業の問題解決や成果創出に向けた状況</li> <li>・整備・提供の仕組みや業務の改善・効率化状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等による利用件数</li> <li>・研究設備の利用に関連する企業への技術支援・指導等の実施件数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目		評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献	(5) 標準化活動の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外の標準化活動の一層の強化に取り組んでいるか</li> <li>○国内外の機関・コンソーシアム等との連携、人的ネットワークの構築、標準化人材の育成等の取組により、標準化活動の基盤を構築・維持・強化できているか</li> </ul>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産総研が参画している会議体、コンソーシアム等での議論や連携活動を通じた、国内外の標準化活動（標準化戦略の策定、規格の開発、成果の発信・普及等）の取組状況</li> <li>・標準化活動を推進するための人材育成状況</li> <li>・国際的な会議・委員会等への参加等を通じたネットワークの構築、強化の状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の標準化に係る審議・検討の場への専門家の派遣数</li> <li>・産総研が参画している会議体等による、国内外の規格等の提案数</li> <li>・標準化に係る産総研への問合せ、相談、業務依頼の件数</li> <li>・標準化人材データベースへの産総研の人材登録数</li> <li>・政府の研究開発事業等において、産総研が標準化戦略の立案、技術的な助言、規格開発等を行ったプロジェクト等の件数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
2. 我が国のイノベーション基盤の強化・産業競争力強化への貢献	(6) 国内外の技術インテリジェンス機能の強化による社会課題解決や競争力強化に向けた政府の政策立案への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外の技術動向のタイムリーかつ適切な把握を通じて、強化すべき研究開発内容をどの程度明確化できているか</li> <li>○国の政策立案・実施検討等に積極的に貢献できているか</li> </ul>	<p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強化すべき研究開発マップの整備状況</li> <li>・政府の政策立案への参加・提案状況と、これによる政府の政策形成過程への貢献状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等への参加人数</li> <li>・政府機関のニーズに応じた技術情報の提案数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
3. 我が国のイノベーション・エコシステムの中核となる競争力のあ る研究所の運営	(1) 産総研の研究開発力をより一層向上させる運営体制の構築	<p>○中長期的な時間軸を視野に入れた研究戦略に基づき、研究開発成果の最大化に資する運営体制が構築、強化できているか</p> <p>○行政当局との緊密な連携を通じて、行政ニーズに適切かつ迅速に対応できているか</p> <p>○成果活用等支援法人との連携機能を強化できているか</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発成果を最大化する運営体制の構築状況</li> <li>・行政当局との連携や行政ニーズへの対応状況（質及び量）</li> <li>・実証研究等をサポートする機能の強化の状況</li> <li>・成果活用等支援法人との効率的かつ効果的な連携状況</li> </ul> <p>等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野横断的な融合研究の実施件数</li> </ul> <p>等</p>
	(2) 有為な専門人材の確保	<p>○優秀な専門人材の獲得・育成に適切に取り組んでいるか</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な専門人材の獲得・育成状況</li> </ul> <p>等</p> <p><b>【モニタリング指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究人材、エンジニアリング人材等の優秀な専門職員の採用数</li> <li>・リサーチアシスタント採用数</li> </ul> <p>等</p>

項目	評価軸	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
3. 我が国のイノベーション・エコシステムの中核となる競争力のあ る研究所の運営	(3) ブランディング による研究開発成 果の的確な対外発 信	○産総研とともに挑むパートナ ーの獲得等につながるよう、ステ ークホルダーに対して統一性・ 一貫性を保ちながら積極的に情 報発信できているか	<b>【評価指標】</b> ・ブランディング・広報活動によるブランド力向上の状況 ・潜在的な連携パートナーに対する働きかけの取組状況 等  <b>【モニタリング指標】</b> ・プレス発表件数 ・主要メディアでの報道件数、産総研ウェブサイトやSNSの閲覧数 ・展示会等への出展件数 等
	(4) 研究DXの推進	○産総研が保有する膨大な研究デ ータの効率的な利活用に向け、 研究DXの推進に必要となる研 究者等のデジタル技術の習得、 能力強化が適切に図られている か  ○ロボットやAI等の導入により 実験の効率化・高速化が図られ ているか  ○研究データのより一層の蓄積と 連携を通じ、産総研全体のDX の推進が図られているか	<b>【評価指標】</b> ・DX教材等の学習の取組状況 ・実験の自動化・自律化の取組状況 ・研究データの登録、共有、公開の取組状況 ・公開された研究データ基盤の企業、大学等による利活用 実績 等  <b>【モニタリング指標】</b> ・研究データの登録、共有、公開件数 等